

学校関係者評価報告書（令和3年度）

令和元年度実施内容の学校評価委員会を開催し、「名古屋情報メディア専門学校」の自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

第1回実施日：令和3年11月26日（火）

出席者 企業委員 2名、関連団体委員 1名、卒業生委員 1名、事務局 2名
評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
(1) 教育理念・目標 教育理念・人材育成目標ともに、しっかりと定められている。	
(2) 学校運営 学園グループの学校間の意思疎通や情報連携に対する、改善の取り組みがみられる。また、学校としての独自性、地域性を考慮した運営も行っている。	新しい情報システムの導入が完了したが、部署間のデータ共有を推し進め、運営の効率化を図って欲しい。
(3) 教育活動 カリキュラムに沿った教育が実施されており、見直しなども行われている。今後は産学連携や外部コンテストなども押し進めている。	インターンシップは学生が現場の空気を知る良い機会である。さらに積極的に取り組んでほしい。
(4) 学修成果 在校生に対する資格と就職 及び 退学防止に対する取り組みは、力を入れて取り組んでおり、高く評価できる。	卒業生の活用が上手くいっているとは言えない。同窓会の活用などを勧め、もっとうまく使えるとよい。
(5) 学生支援 十分な支援がなされており、特に目立った改善項目はない	
(6) 教育環境 空調、パソコン、ソフト、視聴覚機器などの設備面だけでなく産学連携授業、特別講座など仕組みや制度面も評価できる。	BCP への取り組みが急務である。
(7) 学生の受入れ募集 全体的には、よく取組んでおり問題はない。	
(8) 財務 財務基盤が安定しており、健全な学校経営がされ	

ている証拠であり、安心できる学校と感じた。	
(9) 法令等の遵守 全体的には、よく取り組んでおり問題はない。	
(10) 社会貢献・地域貢献 コロナ禍で地域住民向けのイベントなどが実施できてはいない面はあるものの、地域清掃などの実施の継続は評価できる。	

以上